

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.		17-	4
事業名	文化事業イベント経費	会計 一般	款 10
政 策	6 人生を豊かにするために	項 5	目 2
施 策	6-3 文化力の向上	課名	社会教育課
		係名	生涯学習係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	様々な文化事業を行い、町民が文化に触れる機会を提供する。
事業内容	様々な文化事業を行い、町民が文化に触れる機会を提供する。 こども歌舞伎公演、東員「日本の第九」演奏会、音楽祭、東員ミュージカルなどの文化事業を開催することで、文化の発展と町内外に広く情報発信し、文化振興を図る。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1	文化祭出点数	330	379		点		450
2	文化イベント来場者数	908	2,482		人		3000	
3								
4								
5								
		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B				17,280	30,747	31,991		
財源内訳	直接事業費 A			14,232	25,521	25,439		
	うち一般財源			11,999	21,692	16,519		
人件費(千円) B				3,048	5,226	6,552		
内訳	一般職員(人・千円)	0.38	2508	0.71	4686	0.93	6138	
	臨時職員(人・千円)	0.30	540	0.30	540	0.23	414	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継 続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	文化芸術基本条例を策定するため若者を含めた委員会を立ち上げ、条例策定に取り組み、文化芸術活動の発展に繋げる。	③取組の課題	住民参加型の文化事業や古典芸能の魅力発信の強化と、より多くの役者など参加者の増加が必要。
②R4年度に実施した取り組み	若者2名を含めた策定委員会により町文化芸術基本条例を制定した。イベント開催では、第25回記念こども歌舞伎公演、また第10回目となる東員ミュージカル「碧の向こう ~Homage for SADAYA ISHIGAKI~」を開催したほか、東員日本の第九演奏会、音楽祭を開催した。	④今後の改善計画	文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和5年度に基本計画を策定し、文化芸術活動の発展に繋げる。